

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	デイスサービスセンター芦山		公表日 令和7年 2月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個々が必要とするスペースを把握し準備しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて職員を増やし調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚的にイラスト等を活用し、手順書を各所に取り入れています。 ・入口ドアやトイレ等の設備はバリアフリー化となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の掃除・アルコール消毒を徹底しています。 ・活動に合わせてスペースを分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・小部屋を使用してクーリングスペースとして活用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・業務を行う上で気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・保護者の方に評価頂いたご意見内容に基づいて、今後の改善につなげたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・業務を行う上で気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在のところ、第三者による外部評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員の資質向上を図るため、研修を受講する機会を設け、職員間で情報共有しています。 ・専門家の外部講師からコンサルティングして頂き、意見を反映させています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイスサービス計画を作成しているか。	○		・利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイスサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日々の様子を職員間で共有し、アセスメントを繰り返しながら、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	放課後等デイスサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員に共有されており、1日の活動予定も職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方には連絡帳、職員間では支援記録を日々作成しており、常に状況が確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイスサービス計画には、放課後等デイスサービスガイドラインの「放課後等デイスサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・アセスメントを行い、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムの立案は、チーム内でいろいろな意見を出し合って行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもの特性や状況に応じて、工夫しながらプログラム作成し、提供しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性に応じた配慮を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の支援内容や役割分担について確認し、利用者の状況や変化を職員全員が把握し、連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後は、ミーティング等で気付いた点を振り返り情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・外部の専門講師の研修の中で支援方法の相談をし、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・日常生活における基本的な動作や自立を支援し、子どもが望む遊びやいろいろな体験を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援担当者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関等の連絡先を控えたり、関係機関と情報の共有・連携の体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有しています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて相談支援専門員を通じて情報収集を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・これまでの支援内容等に情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・助言を頂いたり研修を受講する機会があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・積極的に放課後児童クラブや児童館との交流を図り、子ども達との社会体験を増やし、社会性を育む活動を提供しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しています。	
保	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・月1回『家族の会』を開催して、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。また、外部講師による研修会も行っていきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行い、質問等があればその場でお答えしています。	
保	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時に本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあればその都度、合う支援を考えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意して頂いたうえで署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて電話等でも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・月1回『自閉症・発達障がい親の会』を開催し外部講師による研修や親御さん同士の意見交換・交流等も行っています。きょうだいへの支援については、今後検討していきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応が出来るように努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月一回おたよりで行事予定を子どもや保護者に対して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類等は厳重に保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり意思の疎通が出来るように努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・月に1回地域に開かれた居場所作りということで、『おむすび亭』を開催しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・業等の必要な子どもの保護者より状況を共有し確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在のところ、対象となる利用者はいないです。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や、訓練を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案が起こった際にヒヤリハットを作成し、原因と予防策等を職員間で話し合い周知に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止検討委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては、「重要事項説明書」に記載し、それぞれに説明を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時にやむを得ない場合の定義について説明しています。	